

地域福祉活動計画策定委員会・事業評価委員会 報告書

開催日時	令和2年10月29日(木) 13時30分～14時45分
開催場所	総合福祉センター 大会議室
出席者	策定委員13名 会長・局長・次長 職員5名

【内容】

1. 開会 13:30

2. あいさつ 菅原委員長

3. 協議

事業評価委員会

(1) 令和元年度事業の評価について

(2) 第1次地域福祉活動計画の事業評価について 説明 新妻

- ・委員による外部評価（事務局の内部評価と変更があったもの）

6 ボランティア養成講座

令和元年度の参加人数が100名を超えており、事業としては、強化が十分図られていることから → 達成

30 復興支援センター

市の委託が終了し、事業を青年海外協力協会へ引き継いだことから → 達成

- ・委員による意見

山田委員 17障がい者新成人記念品贈呈事業について

令和元年度の評価で事業廃止となっているが、なぜでしょうか。

佐藤局長 この事業については、個人情報もあり、対象者の把握に市を經由して調査をしています。対象者の把握、案内、贈呈の調整、それぞれに時間がかかり、さらに品物についても、希望のものが渡せない状況です。次年度以降は、何か形を変えて対応出来ればと考え、事業廃止としています。

小野委員 21在宅介護者リフレッシュ事業について

年々参加者が減少しており、令和元年度は、参加者が1名で事業を中止しています。評価としては、事業廃止となっています。この事業の周知方法や募集方法は、どのようにしているのでしょうか。

新妻係長 この事業は、民生委員・児童員協議会の協力のもと実施しており、周知や募集についても民生委員を通して案内をしています。この事業についても個人情報との関係があり、対象者の把握が困難となっている事業です。年々参加者が減少しており、対象者の把握も難しいことから、事業廃止としています。

菅原委員長 対象者の把握や事業の在り方については、もう一度考えてもらい、考えた結果廃止とするのか、何か別な方策があるのか、検討してください。

三浦会長 この事業については、これまでも検討を重ねてきており、参加者が少ないことだけではなく、参加できる環境を作りたいとのことで、民生委員の皆さんと相談をしながら実施してきました。先ほど説明をいたしましたとおり、対象者の把握については、民生委員を通してご案内をしてきました。しかし、家庭で介護をしていますので、この事業に参加する時間帯は、他の誰かが介護をするのかという難しさもありました。この事業の必要性は重々承知しており、わたしも毎年参加をしてきましたが、参加できる環境づくりまでは社協では解決が難しいことから、次年度以降については、社協としてどのように対応していくのか検討研究していきます。

西塚委員 26生活困窮者自立支援事業について

平成30年度までは、相談件数が1,000件を超えていますが、令和元年度は、500件弱となっています。これは、職員の減によるものなのか、別の要因があるのか教えてください。

新妻係長 件数につきましては、令和元年度から集計の方法を変更しています。平成30年度までは、電話やメールもそれぞれ1件と集計していましたが、令和元年度からは、電話やメールも含めて相談1件と集計したことにより、相談件数が少なくなっています。

菅原委員長 41地域福祉活動計画概要版の作成について

第1次計画の概要版は、作成出来ませんでした。第2次計画の概要版は、作成するのでしょうか。

三浦会長 第2次計画の概要版は、作成して市民の皆さんに配布し、活動計画の周知を図りたいと考えています。

佐藤委員 事業全般について

社協として、担当する事業や福祉活動の多さに、改めて驚きました。それぞれの事業や計画に対し、会長はじめ職員が、地域の福祉向上のために鋭意努力され、素晴らしい成果を上げていることに心から敬意を表します。市民の一人として大変ありがたく思っています。これからも市民の福祉生活向上のため、ご活躍いただきたいと思います。

地域福祉活動計画策定委員会

(1) 座談会実施報告について

(2) アンケート結果について

説明 新妻

- ・委員による意見

菅原委員長 座談会とアンケートの結果については、第2次計画に取り入れて策定したいと考えています。特に、小中学生のうちからボラティア活動に興味を持って活動に参加してもらえることは、まちづくりの基本になると思いますので、小中学生に対する更なるアプローチをお願いしたいと思います。

(3) 第2次地域福祉活動計画の基本理念等について

- ・原案のとおり承認

4. 閉会 14:45 小野副委員長

